

粉雪の八甲田

1987.1.30～2.2

メンバー：島田 隆一ほか友人3名

高嶺会のメンバーの1人に八甲田党がいて、毎年冬春城ヶ倉温泉をベースに通っている。今年も深雪を楽しみに行くと言っていたが遠々が同行することとした。

1/30(金) 曇り 急行八甲田で青森駅着。バスの接続が悪いのでタクシーでロープウェイ駅まで行き、先行2名及びガイドと会流。ゲレンデで3回滑る。足馴らしと、ガイド氏が我々の足前を見る目的らしい。午後 ダイレクトコース、フォレストコース各1回滑る。ロープウェイ頂上 -10°C、風速20m/s、小雪、視界余り良くない。明日は八甲田でも雨とかで雪は意外と重い。(しかしガイド氏が気を抜かせて多サコースを外れて滑ってくれるのでまあまあ新雪滑りが楽しめる。) スピーカーは、繰返し本日のコースは、ダイレクトコース、フォレストですと叫んでいる。原則的にはこの季節このコース以外は滑降禁止となっているようだ。) 今日は初日なのでこれ位で切上げる。やはり滑ても1サイクル1時間程度なので頑張ればもつと滑れる筈だ。夜から雪となり気温は下る。明日の新雪滑りが楽しみだ。

1/31(土) 頂上 -14°C、時々青空が見える。

今日もゲレンデで新雪滑りの後、ロープウェイに乗る。休日の為三沢からの米兵も多い。話好きが居て、安比も行ったとか千葉まで忍術を習いに行くとか色々と話掛けてくる。彼等もそれなりに日本の生活をエンジョイしている様だ。

AMダイレクトコース1本。PMモッコ沢コースに入る。月曜上位の新雪、粉雪で最高の滑りが楽しめた。全然抵抗がなくスキーは自由自在に回転する。心も全く音もなく静かなものだ。一同これには感激。カナダの粉雪の楽しみもわかる」というものだ。最後は城ヶ倉コースを取り直接温泉にリポート。途中平坦な毛無岱を歩いてひとと一滑りで温泉だ。

21(日) 頂上 -16°C , NNE 20m/s , 吹雪

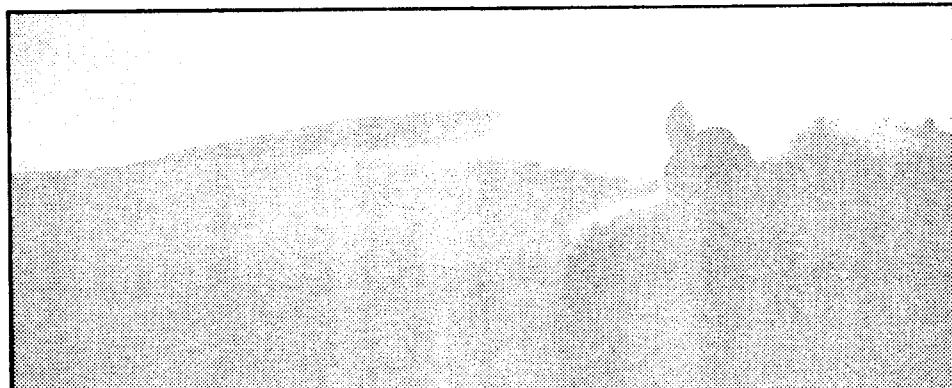
ダイレクトコース、フォレストコース各1本滑る。エングルが凍つて難儀する。ダイレクトコースは、今はゲレンデ並みに荒れている。(が)新温が低いので雪質はとても良い。昨日まで給湯管の故障とかで、寒い一喝でひつきり湯に浸つたものだが、今日は本家の温泉に残りゆく温泉気分を楽しむ。

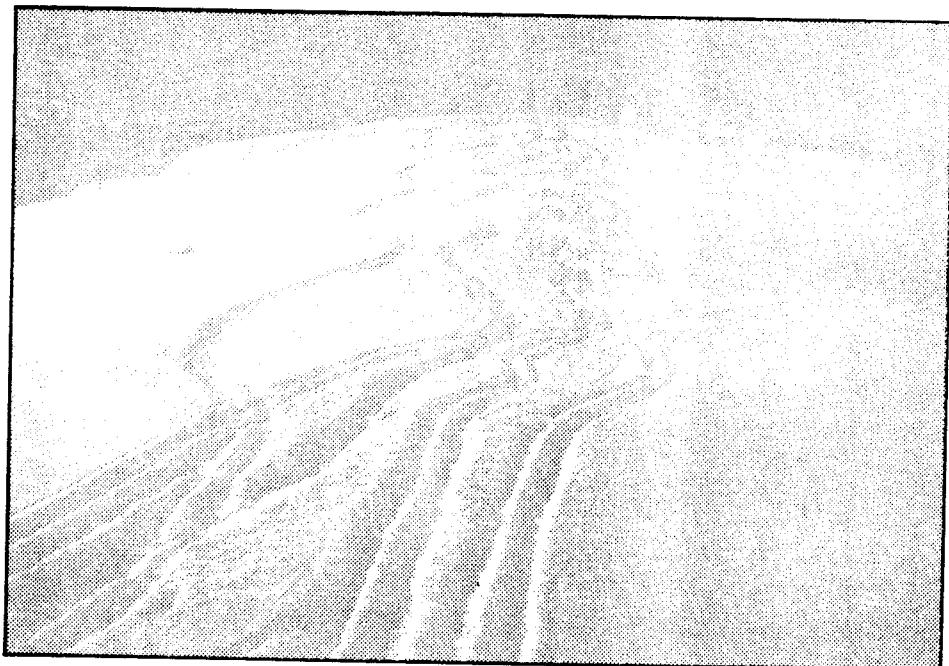
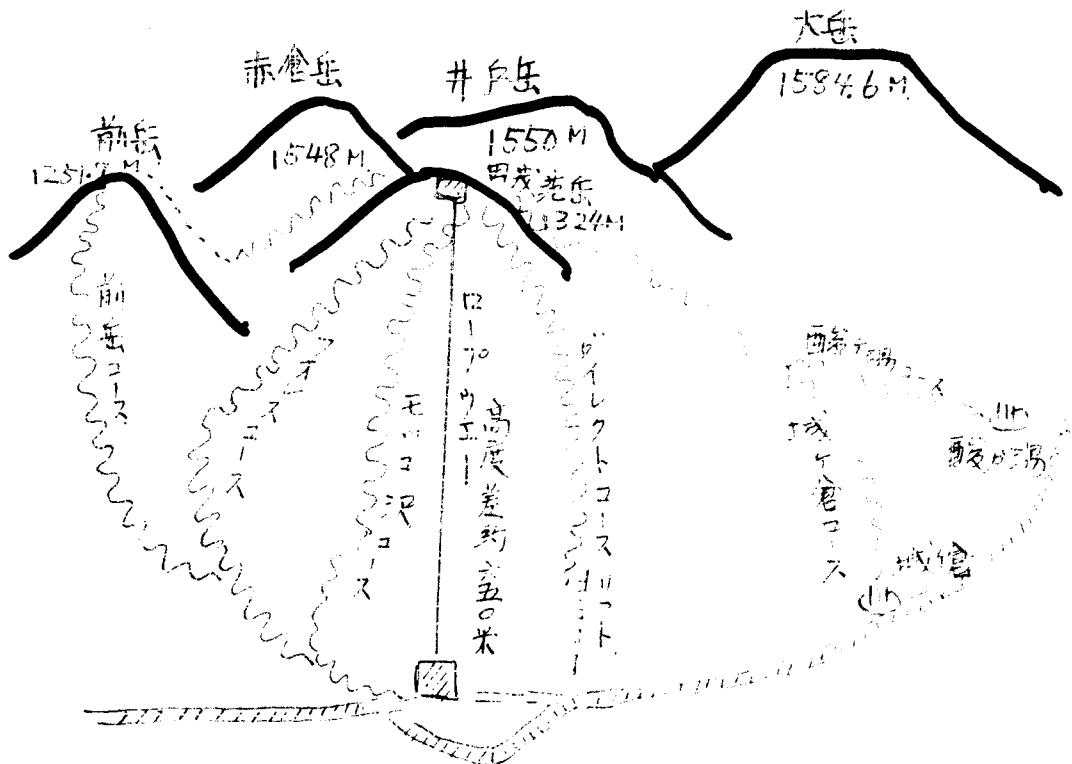
21(日) AM 無風快晴, PM 創り 頂上 -8°C , 8.3m/s .

待望の快晴となり、本日は前岳へのミニツアーを試す。因城苑岳頂上からゆるい斜面を快速に滑り前岳とのコロド下る。この辺りのモスクは美事だ。振返ると我々5人のシップルが新雪に鮮かに刻まれている。シールを利かせて1時間弱で頂上着。風が無いのでのんびり昼食。八甲田最後の展望を樂む。南八甲田から老木山まで一望だ。さて待望の滑降に移る。腰まで滑る新雪を蹴散らして無木立の大斜面をスピーディで樂む。今日も軽い粉雪で最高の満喫が樂めた。下は樹林帯で傾斜がゆるむと間もなくフォレストコースに合流する。最後にダイレクトコース1本滑って今回の八甲田行を締めくる。温泉一浴後荷の車で青森駅へ。駅前の寿司屋で乾杯後、再び八甲田号で上野に向う。(例年3/25~26頃大岳循環コースのホール打ちをやるので、この時期なら必ず大岳まで行けるとの事だ。)

(島田隆一記)

費用不既算: 周遊券半 $17,500$, ハーフウェイ半 $3,600$ (STB)×2, 残つても永久使用可、クニ一片道半 $4,600$, 城ヶ倉温泉1泊2食半 $6,000$ ×3, ガイド料タクシー(但しタクのチップ)





—シエプール— 田茂蒼岳